

わたしの夢

川俣小学校6年

飯沼咲妃

困っている人を安心させられる
保健師になりたい



わたしの夢は、困っている人たちの相談をしっかりと聞いてサポートして助けることのできる保健師になることです。最近までなりたい職業はなかったのですが、お母さんが役場で働いている姿を見たり、介護士として働くお父さんの話を聞いたりして、自分も両親と同じように困っている人を助けたいと思うようになりました。保健師になりたいということをお母さんに話したら「保健師になるために勉強頑張らないとね」と笑顔で応援してくれました。私は両親のことをとても尊敬しています。それは、以前、家の近くのゴミ捨て場にゴミを捨てにいった際に、おばあさんが1人で重そうなゴミ袋を運んでいるのを見た2人が声をかけて助けていたからです。保健師として大切なのは一人ひとりの話をしっかりと聞いて相談者に向き合うことだと思います。そのため私も両親のようになりたくて、困っている人がいたら普段から助けられるようにしていきたいと思っています。

町長のひとこと vol.27



今月は、栗和田地区の「いきいきふれあい花見」に案内をいただき参加してきました。会場は、相談員の高橋幸子さん他26名の皆さんでいっぱいでした。今年で22回の「いきいきふれあい花見」は、新型コロナウイルス感染症対策もあり4年ぶりに開催したとのことでした。相談員の高橋幸子さんが当番となり、開催のための相談会などを開催し、地区内の各班長さんが会場の設営から、花見の料理づくりなど忙しく担当されていました。手打ちうどんや旬の野菜のてんぷらなど大変美味しかったです。また、栗和田地区は、昔から民生委員と相談委員の皆さんが連携して、このようなコミュニケーションづくりに取り組んでいるそうで、今回の花見では高齢者の皆さんがいつもでも元気に住み慣れた地域で楽しく過ごすことの大切さを実感できました。また、晩秋の芋煮会が楽しみです。